取扱説明書



ターンテーブル

PLX-CRSS12

pioneerdj.com/support/

rekordbox.com

serato.com

上記のサイトで、本製品の最新のソフトウェア情報やFAQなどのサポート情報をご覧いただけます。

Pioneer Dj

serato

もくじ

はじめに 4
本書の見かた 4
付属品を確認する 5
マニュアルを閲覧する 6
準備する 7
カートリッジをヘッドシェルに取り付ける 7
組み立てる 8
DJ ソフトウェアについて 13
Serato DJ Pro 13
rekordbox 14
各部の名称 15
コントロールパネル 15
本体フロント部 16
本体リア部 17
本体サイド部 18
本体表示部 19
調整する 20
トーンアームセクション 20
針を使用して再生する場合 21
トーンアームを使用せずに DVS を使用する場合 28
接続（基本スタイル） 29
DJ ミキサーへ接続する 29
設置する場所 30
操作する 31
プレイセクション 31
アナログレコードを再生する 33

トーンアームを使用せずに DVS を使用する 38
パフォーマンス PAD 39
パフォーマンス PAD セクション 39
Serato DJ Pro 40
rekordbox 48
設定 57
設定を変更する 57
UTILITY 設定項目 58
DJ ソフトウェアを使う (MIDI) 59
スペック 60
仕様 60
その他 62
故障かな？と思ったら 62
使用上のご注意 64
各部のお手入れ 65
商標および登録商標について 66
ソフトウェアのライセンス 67
著作権 68

はじめに

本書の見かた

- このたびは、Pioneer DJ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
  本書と、本機に付属している「クイックスタートガイド」および「使用上のご注意」を必ずお読みください。すべて、この製品の使用前にご理解いただくべき重要事項が含まれています。
- 本書では、製品本体、PC/Mac 画面に表示されるメニュー名、ボタン名および端子名などを、[] で囲んで記載しています。（例：[**ファイル**]、[**CUE**] ボタン）
- 本書で説明しているソフトウェアの画面と仕様、およびハードウェアの外観と仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書で説明している手順については、OS のバージョン、ウェブブラウザーの設定などにより記載の動作と異なる場合があります。
- 本書で説明しているソフトウェアの画面の言語が、実際の画面の言語と異なる場合があります。

付属品を確認する

- プラッター × 1
- プラッター固定用ネジ × 6
- ドライバー × 1
- MAGVEL CLAMP × 1
- スリップマット × 1
- スリップシート × 1
- ダストカバー × 1
- バランスウェイト × 1
- サブウェイト × 1
- ヘッドシェル × 1
- シェルウェイト × 1
- 電源コード × 1
- 音声ケーブル（アース線一体型）× 1
- USB ケーブル × 1
- クイックスタートガイド × 1
- 保証書（一部の地域）*1 × 1
- 使用上のご注意× 1

*1 欧州向け製品のみ。（日本向け、北米地域は「使用上のご注意」に記載されています。）

警告

小さな部品は幼児の手の届くところに置かないでください。万一飲み込んだ場合にはただちに医師と相談してください。

警告

MAGVEL CLAMPについて

- 本製品のMAGVEL CLAMPは内部にマグネットを使用しています。
- 医療機器を装着した人にMAGVEL CLAMPを近付けないでください。心臓ペースメーカー等の機器の故障や誤動作を招く恐れがあります。

注意

MAGVEL CLAMPについて

- 本製品のMAGVEL CLAMPは内部にマグネットを使用しています。
- 磁気商品（時計・磁気カード・精密機器等）をMAGVEL CLAMPに近付けないでください。誤作動などの不具合が生じることがあります。

マニュアルを閲覧する

❖ Serato DJ Pro ソフトウェアマニュアル

下記のSerato DJサイトをご確認ください。

serato.com/dj/pro/downloads

❖ rekordbox イントロダクション、操作説明書

「イントロダクション」は、rekordbox のセットアップ方法を記載しています。
「操作説明書」は、rekordboxの操作方法を記載しています。
下記のrekordboxサイトをご確認ください。

rekordbox.com/manual

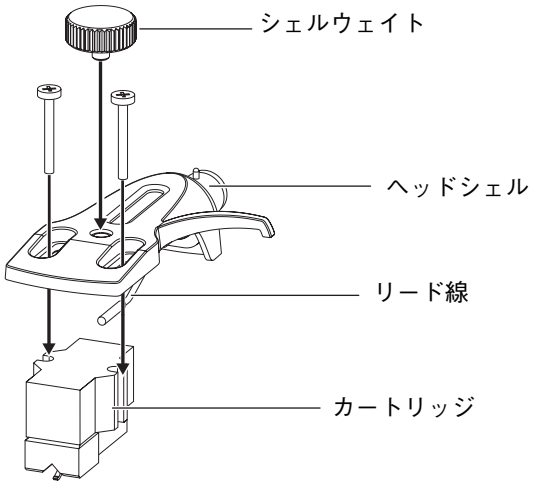
準備する

カートリッジをヘッドシェルに取り付ける

本製品には、カートリッジは付属していません。

- 使用方法の詳細については、お使いのカートリッジの取扱説明書を参照してください。

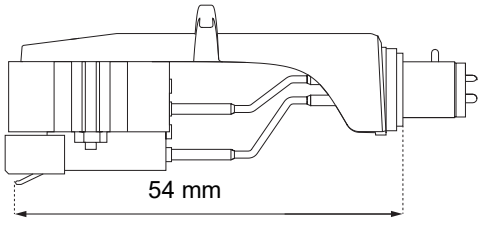
1 色分けされているヘッドシェル部のリード線を、それぞれ対応するカートリッジの端子に、ピンセットなどを使用してしっかりと接続する



- カートリッジが軽すぎて水平バランスが取れない場合は、付属のシェルウェイトを使用してください。

オーバーハングを調整する

針先がトーンアーム取付部から54 mmの位置に合うように、カートリッジ取り付け用のねじで位置を調整してください。

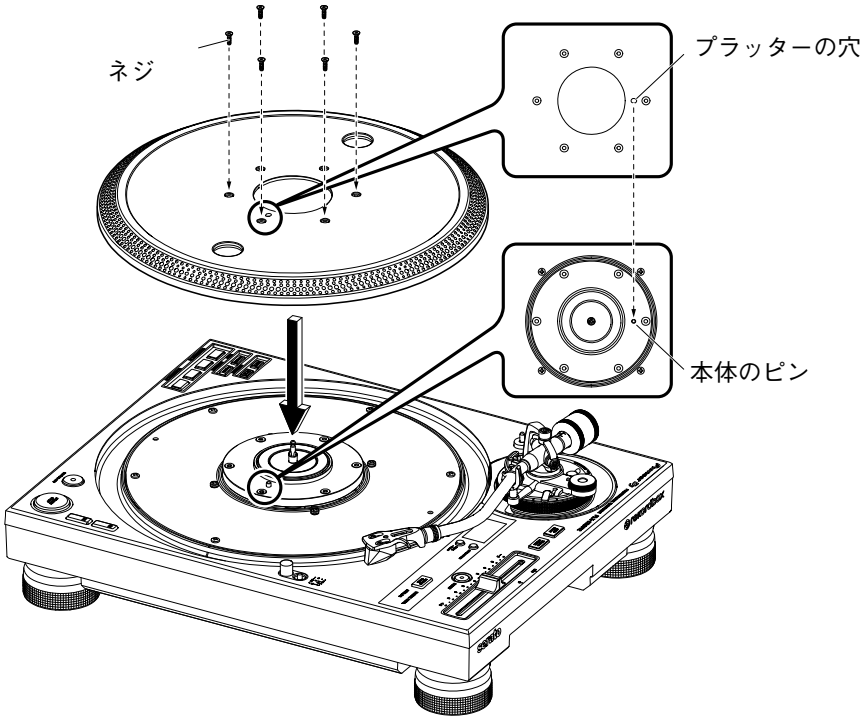


組み立てる

プラッターを取り付ける

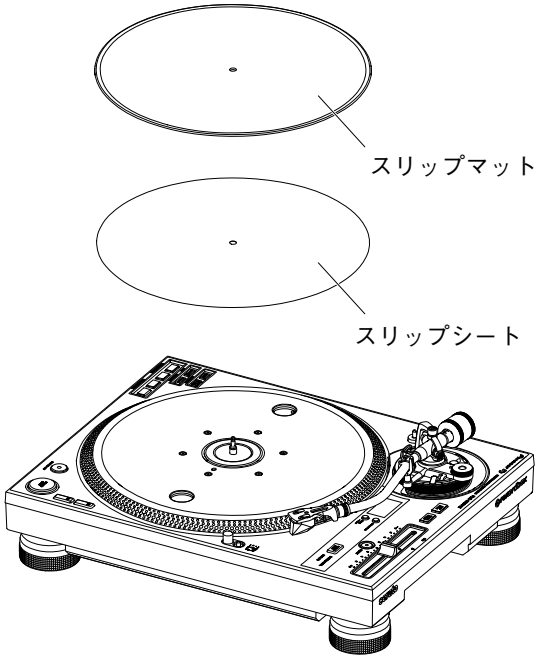
- プラッターは、本体に当てたり落としたりしないでください。
- 本体中央部にはモノを入れないでください。
- プラッターの裏面と本体の間に、ゴミや鉄粉などが付着しないようにしてください。

1 プラッターの中央の穴を本体部の円周部に合わせ、プラッターの穴に本体のピンをはめる



2 ネジでしっかりと6カ所固定する

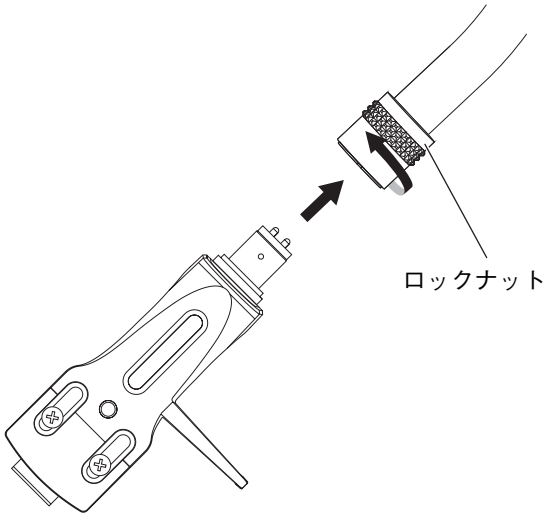
3 スリップマットとスリップシートを取り付ける



針を使用して再生する場合

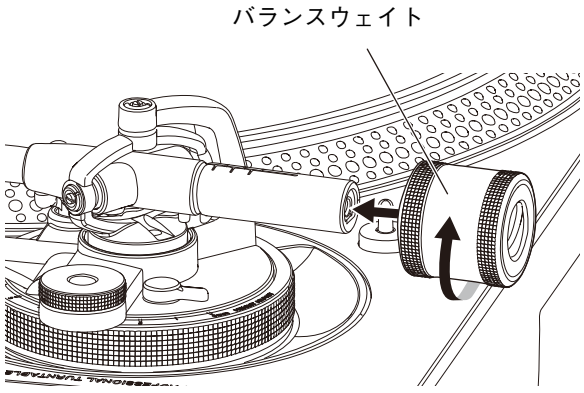
- あらかじめ、カートリッジをヘッドシェルに取り付けてください（7 ページ）。

1 カートリッジを取り付けたヘッドシェルを、トーンアームに挿入する

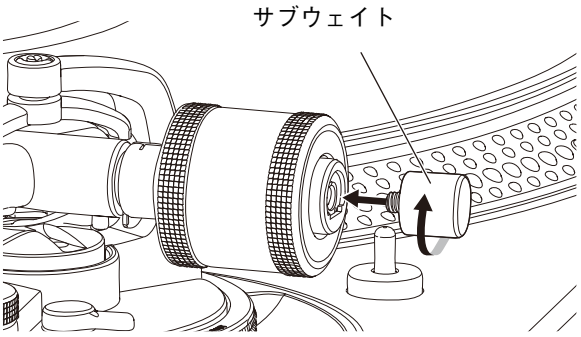


2 ヘッドシェルを水平に保ちながら、ロックナットを締める

3 トーンアームの後部軸に、バランスウェイトを取り付ける



- カートリッジが重すぎて水平バランスが取れない場合は、トーンアームの後部軸にサブウェイトを取り付けてください。



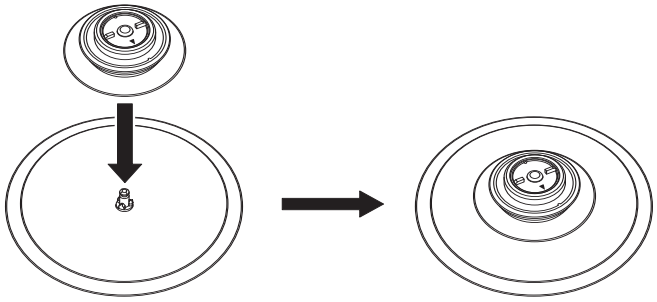
トーンアームを使用しないでDVSを使用する場合

トーンアームを使用しないでDVSを使用する場合は、MAGVEL CLAMPの取り付けが必要です。MAGVEL CLAMPを取り付けると、コントロールディスクの回転トルクの重さを調整できます。

- コントロールディスクは、12インチの任意のレコードを使用できます。
- MAGVEL CLAMPの裏面はコントロールディスクと密着させるため、ゴミや金属物、鉄粉などが付着しないようにしてください。

1　コントロールディスクを取り付ける

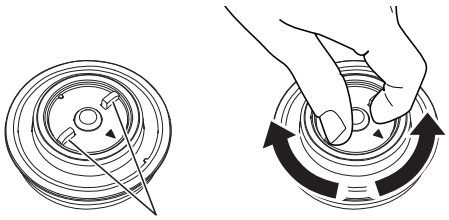
2　MAGVEL CLAMPをスピンドルに取り付ける



- MAGVEL CLAMPの天面を上からしっかり押し込んでください。HEAVY設定では、しっかり押さえないと性能に支障がでる場合があります。

❖ 回転トルクを調整する

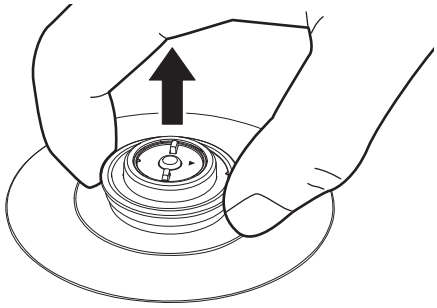
1　**MAGVEL CLAMP**天面のリブに指をかけて回し、▲を**[LIGHT]**～**[HEAVY]**の間で調整する



リブ

❖ MAGVEL CLAMP を取り外す

1　**MAGVEL CLAMP** を図のように指でつまみ、上方に引いて取り外す



DJソフトウェアについて

Serato DJ Pro

Serato DJ Proは、Serato社製のDJソフトウェアです。
Serato DJ Proソフトウェアは本製品には付属されていません。下記のサイトにアクセスして、Serato DJ Proソフトウェアをダウンロードしてください。

serato.com/dj/pro/downloads

- 本機は、Serato DJ Pro hardwareと組み合わせて使用してください。ハードウェアによってはライセンスの購入が必要な場合があります。詳細については、下記のサイトを参照してください。

  serato.com/dj/hardware

- Serato DJ Proの最新の動作環境、互換性、および対応OS に関する情報は、下記のサイトを参照してください。

  serato.com/dj/pro/downloads

- 動作環境を満たしているすべての機器における動作を保障するものではありません。
- PC/Macの省電力設定などによっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型のPC/Macでは、AC電源を接続するなど、高パフォーマンス設定でSerato DJ Pro を使用してください。

rekordbox

rekordbox は楽曲管理とDJパフォーマンスができるDJソフトウェアです。

- rekordboxのDJパフォーマンス機能をPERFORMANCEモードと呼びます。本機をrekordboxがインストールされたPC/Macに接続することで、サブスクリプションプランに契約していなくてもPERFORMANCEモードの機能を使用することができます。この仕組みをHardware Unlockと呼びます。
- Hardware Unlockの対象機能については、下記のサイトの[サポート]から[Hardware Unlock]を参照してください。

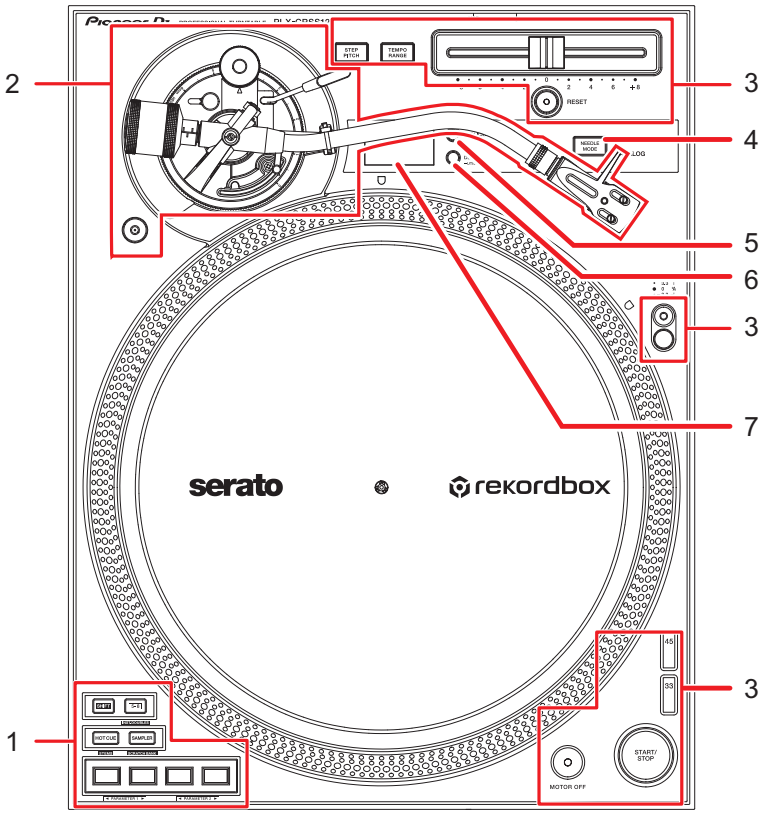
  rekordbox.com
- rekordbox ソフトウェアは本製品には付属されていません。下記のサイトにアクセスして、rekordboxソフトウェアをダウンロードしてください。

  rekordbox.com
- rekordboxの最新の動作環境、互換性、および対応OS に関する情報は、下記のサイトの[サポート]から[動作環境]を参照してください。

  rekordbox.com
- インターネットを使用する場合は、別途プロバイダーとの契約および料金が必要となります。
- 動作環境を満たしているすべての機器における動作を保障するものではありません。
- PC/Macの省電力設定などによっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型のPC/Macでは、AC電源を接続するなど、高パフォーマンス設定でrekordboxを使用してください。

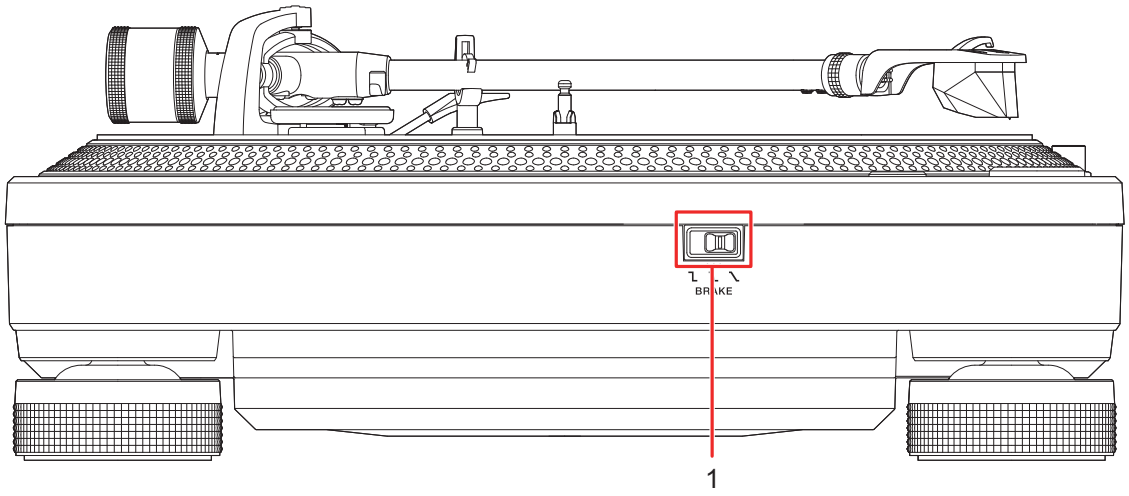
各部の名称

コントロールパネル



1. **パフォーマンスPADセクション**（39 ページ）
2. **トーンアームセクション**（20 ページ）
3. **プレイセクション**（31 ページ）
4. **NEEDLE MODEボタン**（31 ページ）
   ANALOGモードとDIGITAL VINYLモードを切り替えます。
5. **APPLICATIONボタン**（31 ページ）
6. **DECK/UTILITYボタン**
   DJソフトウェア使用時に、パフォーマンスPADを使用するデッキを選択します。
   - 長押しするとUTILITY設定を表示します（57 ページ）。
7. **本体表示部**（19 ページ）

本体フロント部

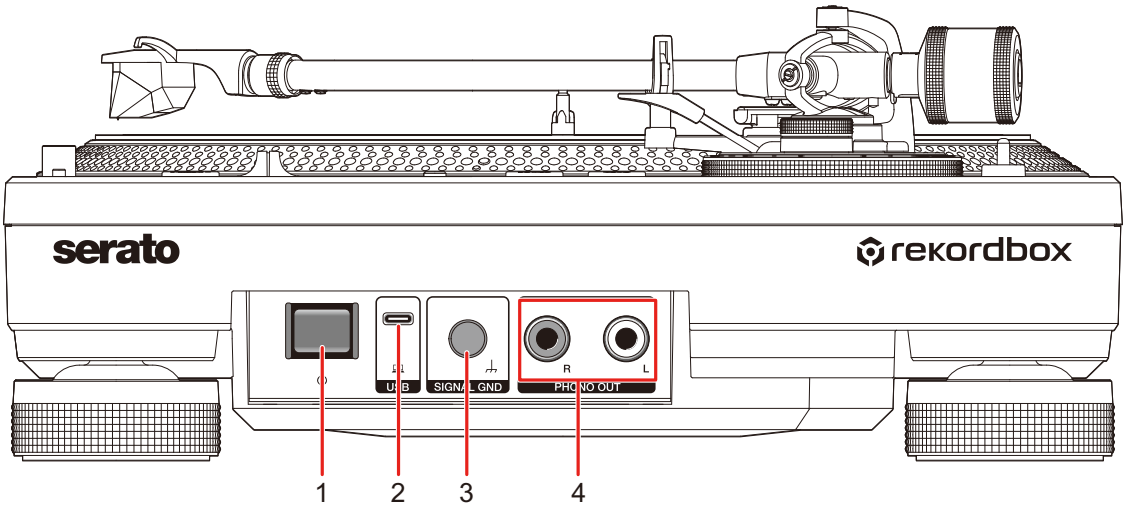


1. **ブレーキ調整スイッチ**

   [**START/STOP**] ボタンを押してからターンテーブルが停止するまでの時間を設定します。

   — ⎿: [**START/STOP**] ボタンを押してから、ターンテーブルが急峻に停止します。
   — ⎿\: ⎿と\の中間の設定です。
   — \: [**START/STOP**] ボタンを押してから、ターンテーブルが徐々に停止します。

本体リア部



1. ⏻**ボタン**

   本機の電源のオンとオフを切り替えます。

   > ⚠ **注意**
   > 製品の仕様により、本体部やリモコン（付属の場合）のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ（遮断装置）に容易に手が届くように設置してください。電源プラグを長時間差したままにすると、火災の原因となることがあります。

2. **USB端子**

   パフォーマンスPADをDJソフトウェアで使用するときに、DJミキサーまたはPC/Macと接続します。

3. **SIGNAL GND端子**

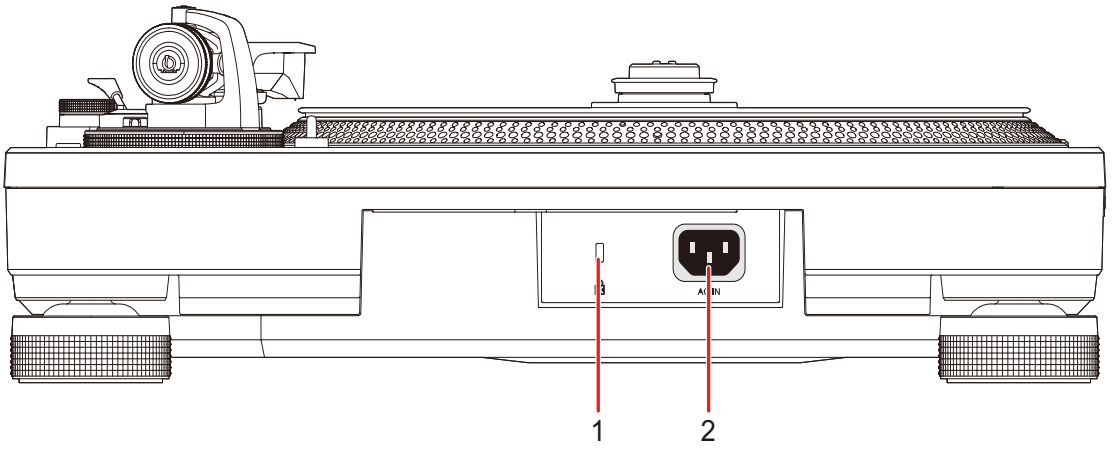
   アース線を接続します。

   > SIGNAL GND 端子は、アンプもしくは DJ ミキサーなどを接続する場合に、雑音の低減を図るためのものです。

4. **PHONO OUT端子**

   付属の音声ケーブル（アース線一体型）を接続します。

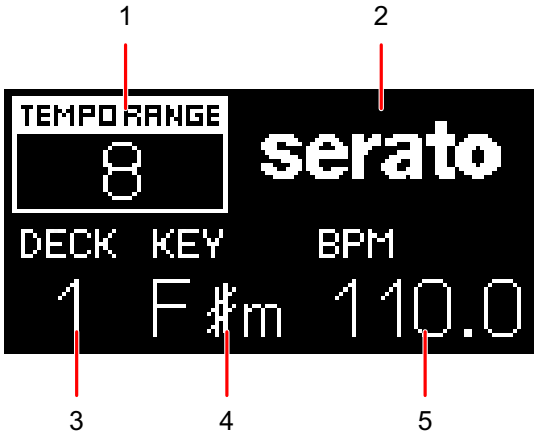
本体サイド部



1. **ケンジントンロック装着用穴**
   盗難防止用のワイヤーロックを装着します。
2. **AC IN**
   付属の電源コードで、コンセントと接続します。
   - 必ず、付属の電源コードを使用してください。
   - 電源コードは、機器の接続がすべて完了してから接続してください。

本体表示部

各設定情報、DJソフトウェアのデッキ、BPM、KEY情報が表示されます。



1. **再生速度可変範囲表示**（34 ページ）

   STEP PITCHがオフのときは、オリジナルの再生速度に対して調整できるテンポ範囲を表示します。

   STEP PITCHがオンのときは、TEMPOスライダーの位置によるKEYを表示します。

   - 表示されるKEYは現在のKEYではなく、目安の値です。

2. **アプリケーション**

   DIGITAL VINYLモードで使用するDJソフトウェアが表示されます。

3. **DECK**

   本機のパフォーマンスパッドがアサインされているデッキの番号を表示します。

   - [**DECK/UTILITY**]ボタンを押したとき、または、本機がPC/MacとUSB接続されているときに表示されます。

4. **KEY**

   現在のKEY（調）を表示します。

   - 本機がPC/MacとUSB接続されているときに表示されます。

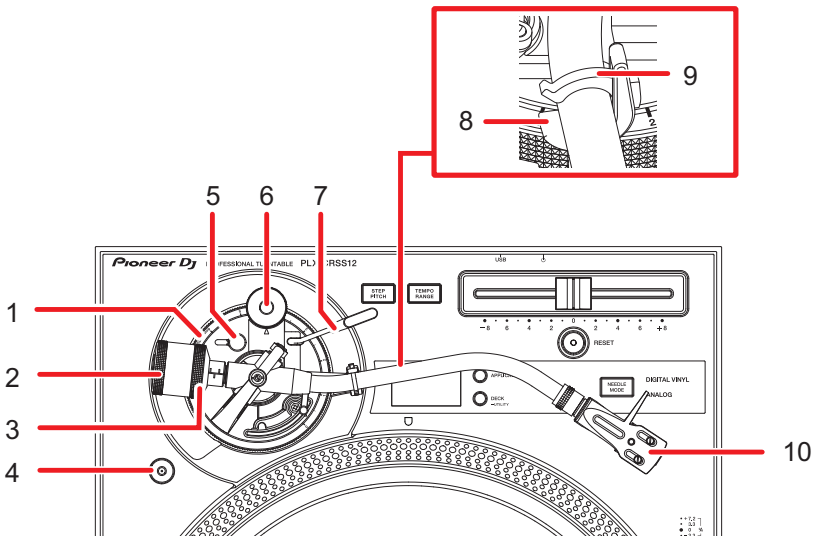
5. **BPM**

   トラックのBPMを表示します。

   - 本機がPC/MacとUSB接続されているときに表示されます。

調整する

トーンアームセクション



1. **HEIGHT ADJUST ダイヤル**
   トーンアームの高さを調整します。
2. **バランスウェイト**
   トーンアームのバランスや針圧を調整します。
3. **針圧調整リング**
   カートリッジの適正針圧に合わせるときに調整します。
4. **MAGVEL CLAMP ストレージ**
   MAGVEL CLAMP を使用しないときに、取り付けて保管します。
5. **HEIGHT ADJUST ロック**
   トーンアームの高さを固定します。
6. **ANTI SKATING ダイヤル**
   針圧と同じ数値に設定すると、レコード再生時に針先が内周に引っ張られる力を打ち消します。
7. **リフターレバー**
   レバーを起こすとトーンアームが上がり、レバーを倒すとトーンアームが下がります。

8. **アームレスト**
   トーンアームの支持台です。
9. **アームクランパー**
   トーンアームを固定します。
10. **ヘッドシェル**
    カードリッジを取り付けて使用します。

針を使用して再生する場合

トーンアームのバランスを調整する

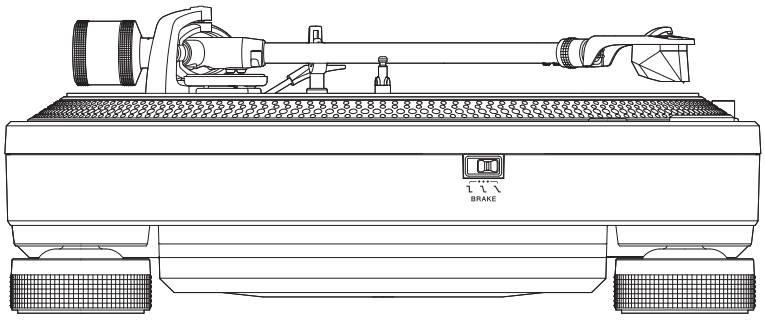
カートリッジやヘッドシェルは製品ごとに質量が異なるため、トーンアームのバランスを調整します。

1 針先に触れないように、針カバーとアームクランパーを外す

2 リフターレバーを下に倒す

3 ANTI SKATINGダイヤルを[0]に合わせる

4 トーンアームをアームレストから離し、バランスウェイトを回してトーンアームが水平になるように調整する



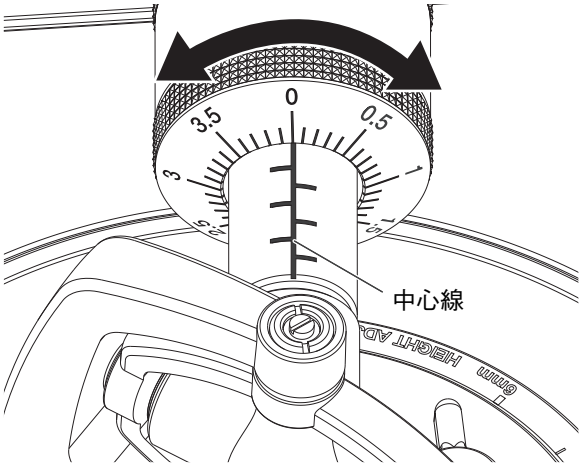
- トーンアームを移動させるときは、針先が直接ターンテーブルなどに触れないように注意してください。

針圧を調整する

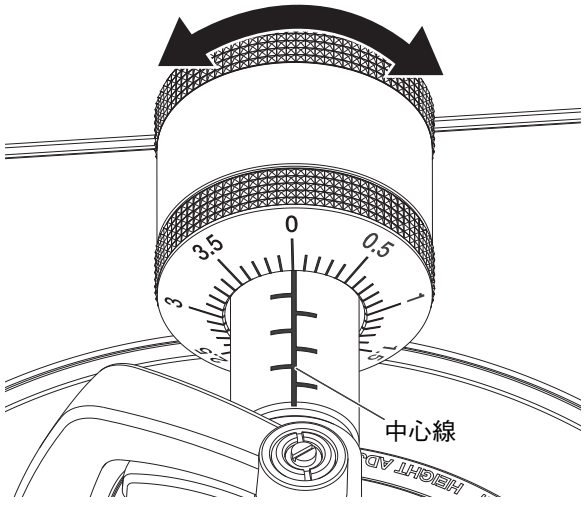
針飛びや音の歪みを防ぐため、カートリッジごとに決められた適正針圧値に調整します。

1 トーンアームをアームレストに置き、アームクランパーで固定する

2 バランスウェイトが動かないように支えて針圧調整リングを回し、トーンアーム後部軸の黒い中心線に針圧調整リングの**[0]**を合わせる



3 バランスウェイトを回して、お使いのカートリッジの適正針圧値に合わせる



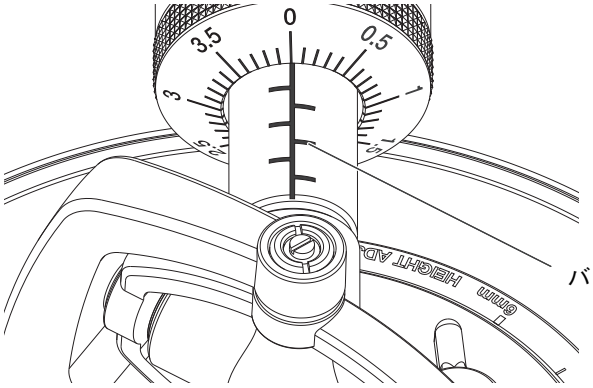
- バランスウェイトを回すと針圧調整リングも回ります。調整リングを見ながら適正な針圧に調整してください。

❖ バランスウェイト取付目盛を使う

お使いのカートリッジ付シェルのバランスウェイト取付目盛の設定を覚えておくと、その設定に合わせるだけで、適正針圧を設定することができます（毎回トーンアームの水平バランスを調整する必要はありません）。

1　お使いのカートリッジ付シェルをトーンアームに取り付ける

2　お使いのカートリッジ付シェルのバランスウェイト取付目盛の設定に合わせる

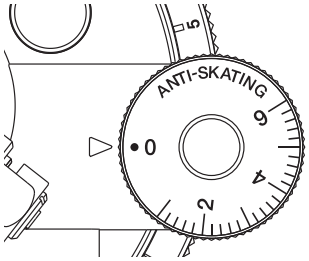


バランスウェイト取付目盛

アンチスケーティングを調整する

針飛びを抑えるために、アンチスケーティングを調整します。

1 ANTI SKATINGダイヤルを回して、カートリッジの針圧の数値を基準線に合わせる



- スクラッチプレイのときは、針飛びを抑えるため、プレイの動作によって目盛を調整してください。

アームリフターの高さを調整する

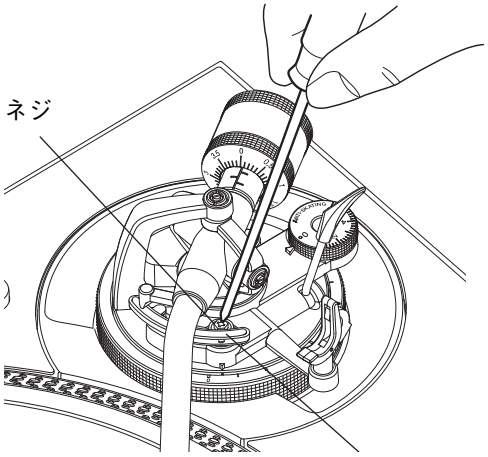
お使いのカートリッジによって、必要な場合に調整してください。

1 レコード盤をターンテーブルにセットする

2 針先に触れないように、針カバーとアームクランパーを外す

3 リフターレバーを起こし、トーンアームをレコード盤上に移動する

4 アームリフターを押し下げた状態で、ネジを回して調整する

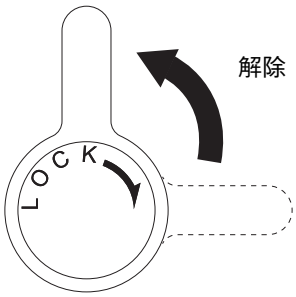


アームリフター
* この部分を押し下げながら、ネジを回す。

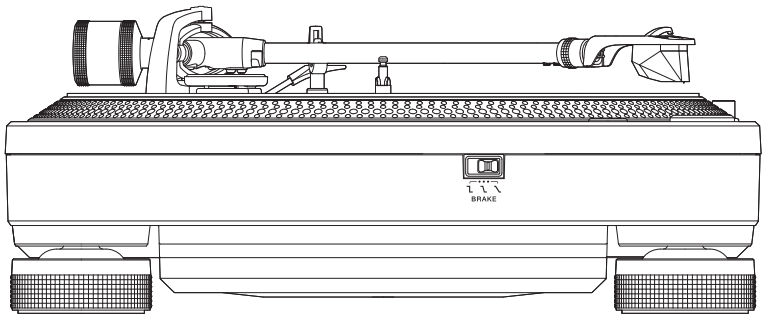
- 時計回りに回すと、レコード盤と針先の間隔が狭くなります。
- 反時計回りに回すと、レコード盤と針先の間隔が広くなります。

アームの高さを調整する

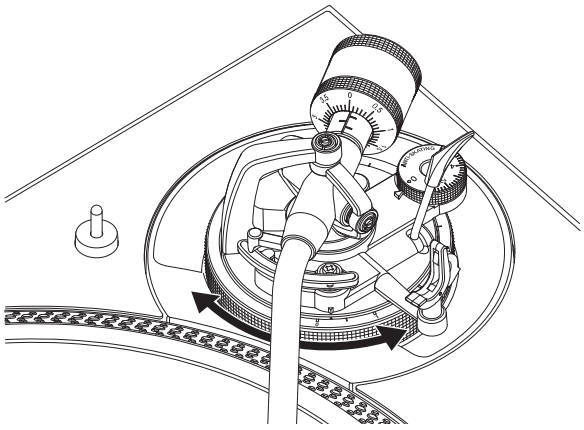
1 **HEIGHT ADJUST**ロックを回して、ロックを解除する

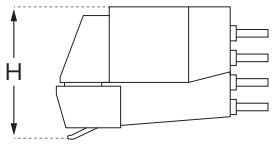


2 リフターレバーを倒して針先をレコード盤に下ろし、トーンアームとレコード盤が平行になるように**HEIGHT ADJUST**ダイヤルを調整する



- 下表を参考にして、お使いのカートリッジの寸法に合うようにHEIGHT ADJUSTダイヤルを調整してください。



	カートリッジの寸法 H (mm)	HEIGHT ADJUST ダイヤル目盛位置
	19	0
	20	1
	21	2
	22	3
	23	4
	24	5
	25	6

3 HEIGHT ADJUSTロックを回して、アームの高さを固定する

- スクラッチプレイのときは、針飛びを抑えるため、プレイの動作によって HEIGHT ADJUSTダイヤルでアームの高さを調整してください。

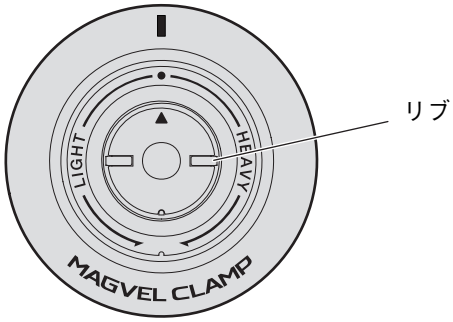
トーンアームを使用せずにDVSを使用する場合

MAGVEL CLAMPを調整する

トーンアームを使用せずにDVSを使用する場合は、MAGVEL CLAMPの取り付けが必要です（11 ページ）。

1 MAGVEL CLAMP天面のリブに指をかけて回し、回転トルクの重さを調整する

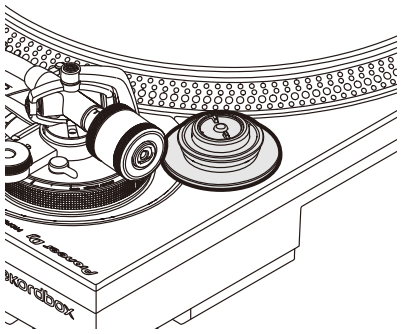
➲ 「回転トルクを調整する」（12 ページ）



- 時計回り（**[HEAVY]** 側）に回すと、コントロールディスクの回転トルクが重くなります。
- 反時計回り（**[LIGHT]**側）に回すと、コントロールディスクの回転トルクが軽くなります。

❖ MAGVEL CLAMPの保管

MAGVEL CLAMPストレージの突起部に取り付けて、以下のようにMAGVEL CLAMPを保管できます。

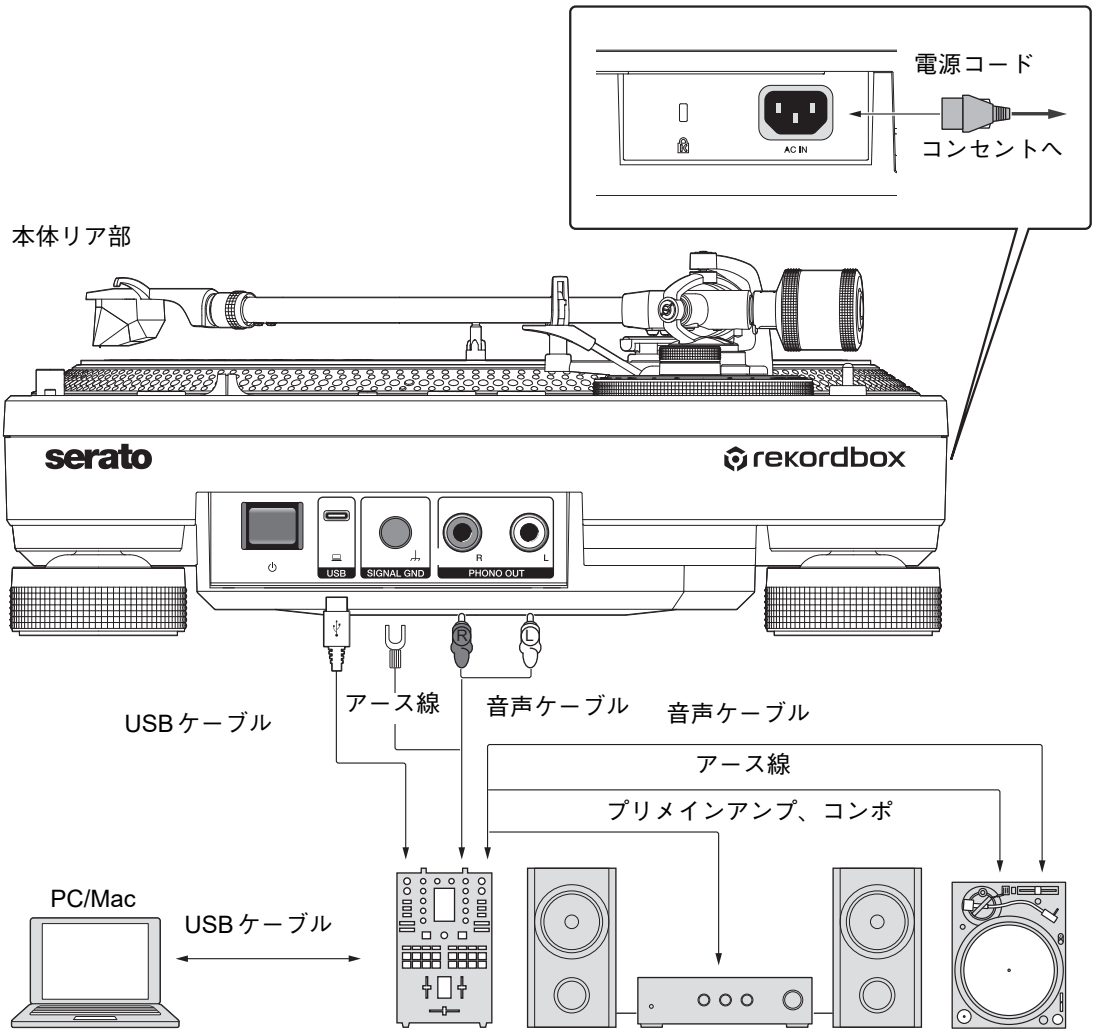


接続（基本スタイル）

接続を行う前に、必ず本機の電源をオフモード（■）にし、電源コードを抜いてください。
電源コードは、すべての接続が完了してから接続してください。

- 付属の電源コードを使用してください。
- 接続する機器の取扱説明書も参照してください。
- 本機と DJ ミキサーまたは PC/Mac は、付属の USB ケーブル、または USB2.0 に準拠したケーブルで接続してください。

DJ ミキサーへ接続する



- 音声ケーブルとアース線は、DJミキサーのPHONO入力端子に接続してください。PHONO入力端子のないDJミキサーに接続すると、十分な音量や音質が得られません。
- アース線は必ず接続してください。接続しないと、電源ハム（ブーンという音）が出ます。
- 接続するDJミキサーにUSBハブ機能がない場合（USB A端子がない場合）は、本機とPC/Macを直接USBケーブルで接続してください。

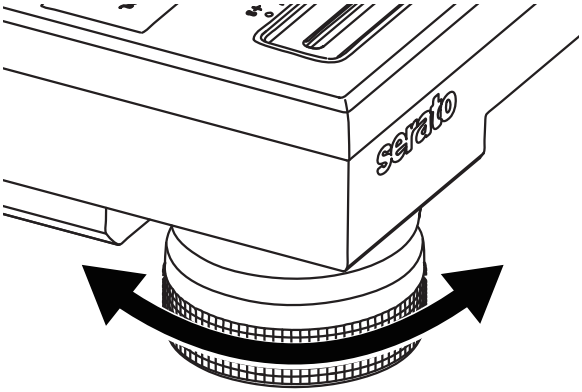
設置する場所

外部振動を受けない、水平な場所に置いてください。

- スピーカーシステムからは、できるだけ離して設置してください。
- ラジオ（FM/AM放送）を極端に近づけると、ラジオに雑音が入る場合があります。できるだけ本機とは離してください。

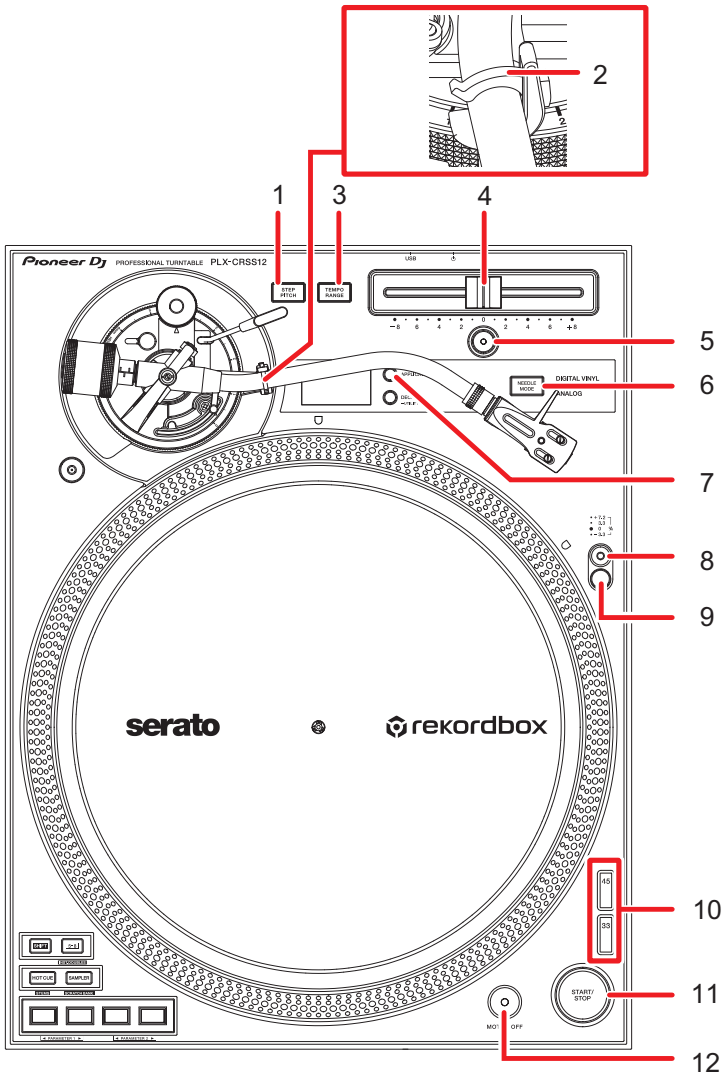
本体の高さを調整する

1　本体が水平になるように、インシュレーターを回して高さを調節する



操作する

プレイセクション



1. **STEP PITCH ボタン**
   TEMPO スライダーの操作によるターンテーブルの回転数の調整方法を変更します。
2. **アームクランパー**（20 ページ）

3. **TEMPO RANGE ボタン**
   押すたびにTEMPOスライダーの可変範囲が±8%→±16%→±50%→±8%... と切り替わります。
4. **TEMPO スライダー**
   ターンテーブルの回転数を調整します。
5. **RESET ボタン/RESET インジケーター**
   押すとRESETインジケーターが点灯し、TEMPOスライダーの位置に関わらず、規定の回転数（33 1/3 rpmまたは45 rpm）に設定します。
6. **NEEDLE MODE ボタン**
   ANALOGモードとDIGITAL VINYLモードを切り替えます。
7. **APPLICATION ボタン**
   DIGITAL VINYLモード時に、DJソフトウェアを選択します。
8. **ターゲットイルミネータースイッチ**
   ターゲットイルミネーターが点灯し、針先およびストロボ縞目を照らす位置まで上がります。
9. **ターゲットイルミネーター**
   ストロボイルミネーターが青色に点灯します。
   スタイラスイルミネーターが針先を照らすように白色に点灯します。
10. **スピードチェンジボタン**
    再生するレコード盤に合わせて切り替えます。
    - 33 1/3回転のレコード盤は、[**33**]ボタンを押します。
    - 45回転のレコード盤は、[**45**]ボタンを押します。
11. **START/STOP ボタン**
    ターンテーブルの回転を開始/停止します。
12. **MOTOR OFF ボタン**
    モーターをオフにします。ターンテーブルの回転が自然に止まります。
    - モーターオフ中に [**START/STOP**] ボタンを押すと、もう一度ターンテーブルの回転を開始します。

アナログレコードを再生する

再生する

- EPレコード用アダプターは本製品には付属していません。
- スリップマット（9 ページ）を使用すると、レコードの再生を手で止めたり、逆回転させることができます。また、スリップマットの下にスリップシートを置いて使用すると、スクラッチの滑りが良くなります。

1 [NEEDLE MODE]ボタンを押して、ANALOGに切り替える

2 針先に触れないように、針カバーとアームクランパーを外す

3 レコード盤をターンテーブルにセットする

4 [START/STOP]ボタンを押す

ターンテーブルが回転します。

5 RESETボタンを押す

RESETインジケーターが白色に点灯し、規定の回転数（33 1/3 rpmまたは45 rpm）に戻ります。

6 リフターレバーを起こし、トーンアームをレコード盤上に移動する

7 リフターレバーを倒す

トーンアームが下りて、再生が始まります。

- ターゲットイルミネータースイッチを押すと、スタイラスイルミネーターが白色に点灯して針先を照らす位置まで上がります。ターゲットイルミネーターを押し下げると、消灯します。
- 再生を一時中断するには、リフターレバーを起こします（カートリッジの針先がレコード盤から離れます）。もう一度再生するときは、リフターレバーを倒します。

ピッチを調整する

1 [RESET]ボタンを押して、インジケーターを消灯させる

2 TEMPOスライダーを左右に動かす

- 右側に動かすと回転数が速くなります。
- 左側に動かすと回転数が遅くなります。
- TEMPOスライダーの目盛はおおよその数値です。目安として使用してください。

3 [TEMPO RANGE]ボタンを押す

押すたびにTEMPOスライダーの可変範囲が切り換わり、可変範囲のインジケーターが点灯します。

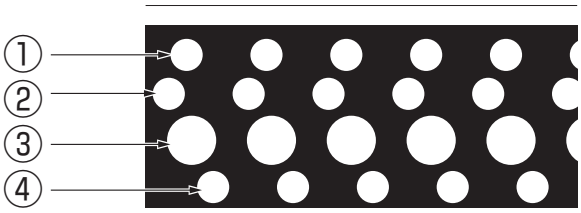
設定値	調整単位
±8	0.016 %
±16	0.032 %
±50	0.1 %

- もう一度RESETボタンを押すとRESETインジケーターが点灯し、通常のピッチに戻ります。RESETインジケーターが点灯しているときは、TEMPOスライダーの位置に関係なく、規定の回転数（33 1/3 rpmまたは45 rpm）になります。

ピッチを検出する

ターンテーブルの円周に刻まれた4列のストロボ縞目で、細かいピッチを検出できます。

ストロボ縞目



1. ストロボ縞目が停止して見えるとき、＋7.2 %のピッチ変化
2. ストロボ縞目が停止して見えるとき、＋3.3 %のピッチ変化
3. ストロボ縞目が停止して見えるとき、規定の回転数（33 1/3 rpm または45 rpm）
4. ストロボ縞目が停止して見えるとき、-3.3 %のピッチ変化

1　ターゲットイルミネータースイッチを押す

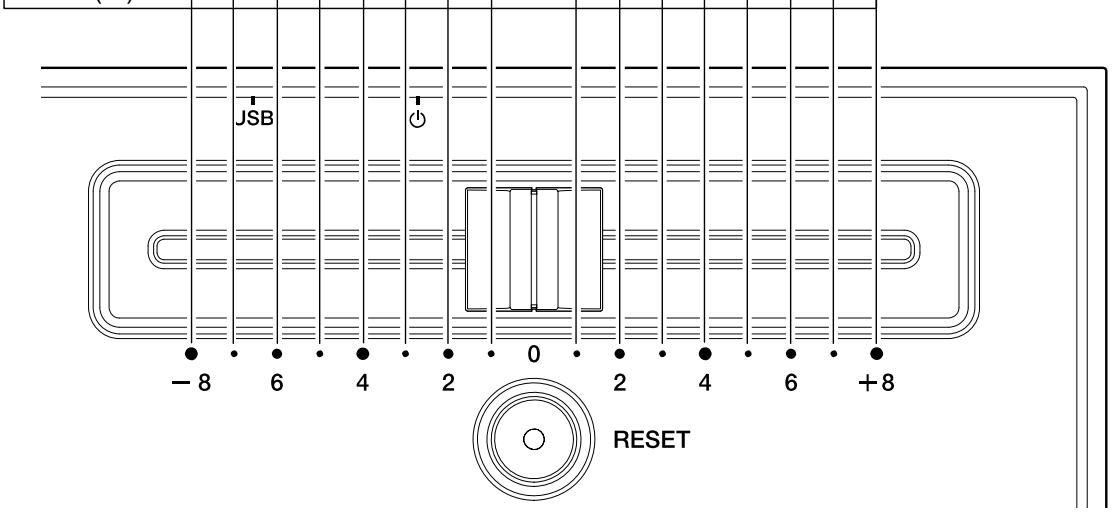
ストロボイルミネーターが青色に点灯し、ストロボ縞目を照らす位置まで上がります。

- 本機のストロボ縞目の照明には、ストロボイルミネーター（青色 LED 照明）を使用します。ピッチの検出は、必ずストロボイルミネーターの照明をオンにしてください。
- ストロボイルミネーターの照明が必要ないときは、ターゲットイルミネーターを押し下げてください（消灯します）。

ターンテーブルの回転数の調整方法を変更する

[**STEP PITCH**] ボタンで、TEMPO スライダーの操作によるターンテーブルの回転数の調整方法を変更できます。
STEP PITCH がオフのときは、連続的に回転数は変化します。
STEP PITCH がオンのときは、半音階ずつ段階的に変化します。

DISPLAY 表示	D4	D#4	E4	F4	F#4	G4	G#4	A4	A#4	B4	C5	C#5	D5	D#5	E5
ピッチ (%)	-33.2	-29.3	-25.0	-20.7	-15.9	-10.9	-5.7	0.0	5.9	12.2	18.9	26.0	33.5	41.4	49.8



再生を終了する

1 リフターレバーを起こす

カートリッジの針先がレコード盤から離れます。

2 トーンアームをアームレストに戻す

3 リフターレバーを倒してから、アームクランパーで固定する

4 [START/STOP]ボタンを押す

ターンテーブルの回転が停止します。

- ターンテーブルの回転中に[**MOTOR OFF**]ボタンを押して停止することもできます（モーター駆動が止まって、回転が徐々に遅くなり停止します）。停止後に[**START/STOP**]ボタンを押すと、再度回転を開始します。
- 再生が終わったら、針先保護のため針カバーを取り付けてください。また、ダストカバーの両側を支えて真上からかぶせるように取り付けてください。

トーンアームを使用せずにDVSを使用する

再生する

- あらかじめMAGVEL CLAMPを取り付けてください（11 ページ）。

1 **DJ**ソフトウェアを**[REL]**モードにセットする

2 **[NEEDLE MODE]**ボタンを押して、**DIGITAL VINYL**モードに切り替える

3 **[APPLICATION]**ボタンを押して、使用する**DJ**ソフトウェアを選択する

4 **[DECK]**ボタンを押して、本体表示部に**KEY**と**BPM**を表示するデッキを選択する

5 **[START/STOP]**ボタンを押す

ターンテーブルが回転します。

再生を終了する

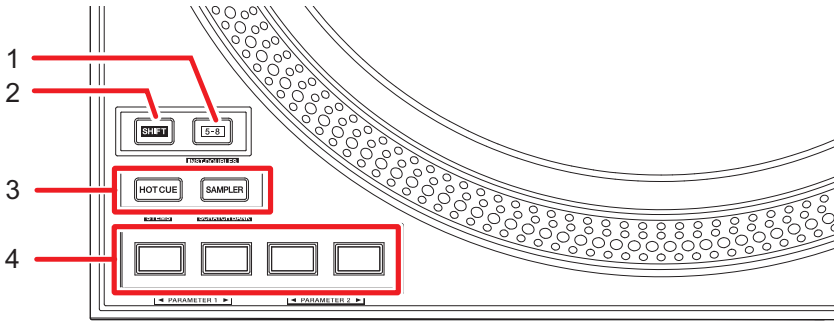
1 **[START/STOP]**ボタンを押す

ターンテーブルの回転が停止します。

パフォーマンスPAD

- USBケーブルで、本機をDJミキサーまたはPC/Macと接続してください。
- [**DECK/UTILITY**]ボタンで、パフォーマンスPADを使用するデッキを選択します。

パフォーマンスPADセクション



1. **5-8ボタン**

   パフォーマンスPAD1-4と5-8を切り替えます。

   - [**SHIFT**]ボタンを押しながら[**5-8**]ボタンを押すと、もう一方のデッキにロードされているトラックを、ボタンを押したデッキにロードします（インスタントダブルス）。再生位置も同じになります。
   - [**5-8**]ボタンを押しながら各パフォーマンスPADを押すと、パフォーマンスPADにアサインされている別の機能を呼び出します。

2. **SHIFTボタン**

   [**SHIFT**]ボタンを押しながら各ボタンを押すと、ボタンにアサインされている別の機能を呼び出します。

3. **PADモード（HOT CUE, SAMPLER）ボタン**

   Serato DJ Proと組み合わせて使用するとき：

操作	HOT CUEボタン	SAMPLERボタン
押す	HOT CUE モード	SAMPLER モード
[**SHIFT**] ボタン＋押す	STEMS モード	SCRATCH BANK モード
2回押す	ROLL モード	SAVED LOOP モード
[**SHIFT**] ボタン＋2回押す	ユーザーモード1	ユーザーモード2

rekordboxと組み合わせて使用するとき：

操作	HOT CUEボタン	SAMPLERボタン
押す	HOT CUE モード	SAMPLER モード
[**SHIFT**] ボタン＋押す	TRACK SEPARATION モード	SAMPLE SCRATCH モード
2 回押す	PAD FX1 モード	BEAT JUMP モード
[**SHIFT**] ボタン＋ 2 回押す	ユーザーモード 1	ユーザーモード 2

4. **パフォーマンス PAD**

Serato DJ Pro

HOT CUE モード

パフォーマンスPADを押すと、ホットキューポイントを瞬時に呼び出し、再生を開始します。
- 設定できるホットキューは、1トラックにつき8個までです。

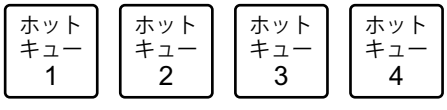
1 [HOT CUE]ボタンを押す

HOT CUEモードに切り替わります。

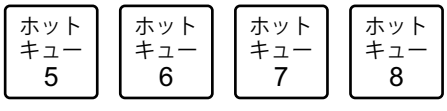
2 再生中または一時停止中に、ホットキューポイントを設定したい位置でいずれかのパフォーマンスPADを押す

ホットキューポイントが設定されます。
- ホットキューは、以下のようにパフォーマンスPADに割り当てられます。

[**5-8**]ボタン消灯：



[**5-8**]ボタン点灯：



3 ホットキューポイントが設定されているいずれかのパフォーマンスPADを押す

ホットキューポイントから再生を開始します。

- [**SHIFT**]ボタンを押しながらパフォーマンスPADを押すと、設定されているホットキューポイントを削除します。
- [**5-8**]ボタンを押しながらPAD 1を押すと、Flipを記録できる状態になります。
- Flipの記録中に[**5-8**]ボタンを押しながらPAD 1を押すと、Flipの記録を停止します。
- [**5-8**]ボタンを押しながらPAD 2を押すと、記録したFlipの先頭から再生します。
- [**5-8**]ボタンを押しながらPAD 3を押すと、Flipのループ動作のオン/オフを切り替えます。
- [**5-8**]ボタンを押しながらPAD 4を押すと、記録したFlipのオン/オフを切り替えます。

SAMPLERモード

パフォーマンスPADを使って、サンプラーのサンプラースロットにロードされたトラックの再生を開始します。

1 Serato DJ Proの画面で、[SAMPLER]パネルを表示する

2 本機の[SAMPLER]ボタンを押す

SAMPLERモードに切り替わります。

3 [5-8]ボタンを押しながらPAD 1またはPAD 2を押して、サンプラーのバンクを切り替える

4つ（A、B、C、D）のバンクが切り替わります。

- それぞれのバンクには8つのスロットがあります。

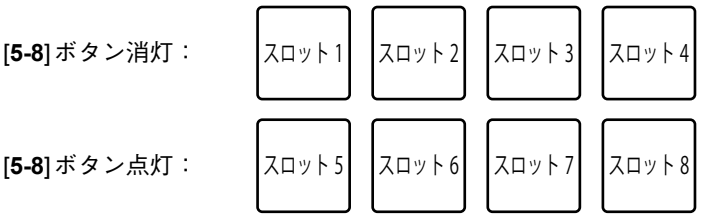
4 Serato DJ Proの画面で、トラックを[SAMPLER]パネルの各スロットにドラッグアンドドロップしてロードする

サンプラーの設定とロードしたトラックが保存されます。

5 再生したいスロット（トラック）が設定されているパフォーマンスPADを押す

スロット音声の再生を開始します。

- 各スロットは以下のようにパフォーマンスPADに割り当てられています。



- Serato DJ Proのサンプラーのモードによって再生方法が異なります。詳細については、Serato DJ Proのソフトウェアマニュアルを参照してください（6 ページ）。
- [**SHIFT**] ボタンを押しながらパフォーマンス PAD を押すと、スロット音声の再生を停止します。
- [**5-8**] ボタンを押しながらPAD 3またはPAD 4を押すと、サンプラーのオーディオ出力先を選択できます。

STEMS モード

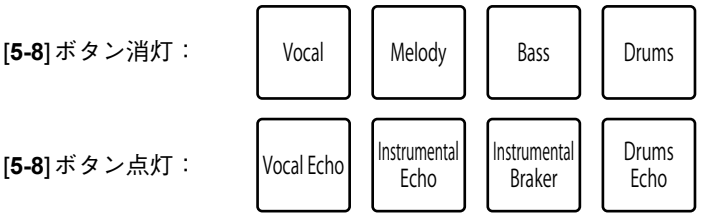
VOCAL、MELODY、BASS、DRUMS を Stem 別に操作できます。

1 [SHIFT] ボタンを押しながら [HOT CUE] ボタンを押す

STEMS モードに切り替わります。

2 操作したい機能が設定されているパフォーマンス PAD を押す

- 各機能は以下のようにパフォーマンスPADに割り当てられています。



— Vocal：Vocal Stemのミュートのオン/オフを切り替えます。
— Melody：Melody Stemのミュートのオン/オフを切り替えます。
— Bass：Bass Stemのミュートのオン/オフを切り替えます。
— Drums：Drums Stemのミュートのオン/オフを切り替えます。
— Vocal Echo：Vocal StemにミュートとEcho Outエフェクトを適用します。

— Instrumental Echo：Melody、Bass、Drums Stemにミュートと Echo Outエフェクトを適用します。
— Instrumental Braker：Melody、Bass、Drums Stemにミュートと Brakerエフェクトを適用します。
— Drums Echo：Drums Stemにミュートと Echo Outエフェクトを適用します。

- [**5-8**]ボタンを押しながらPAD 1を押すと、Acapellaのオン/オフを切り替えます。
- [**5-8**]ボタンを押しながらPAD 2を押すと、Instrumentalのオン/オフを切り替えます。
- [**5-8**]ボタンを押しながらPAD 3を押すと、Echo Outエフェクトを1/2拍に設定します。
- [**5-8**]ボタンを押しながらPAD 4を押すと、Echo Outエフェクトを1拍に設定します。

SCRATCH BANKモード

スクラッチバンクの音声をデッキにロードして使用します。

1 Serato DJ Proの画面で、[SCRATCH BANK]パネルを表示する

2 本機の[SHIFT]ボタンを押しながら、[SAMPLER]ボタンを押す

SCRATCH BANKモードに切り替わります。

3 [5-8]ボタンを押しながらPAD 1またはPAD 2を押して、スクラッチバンクのバンクを切り替える

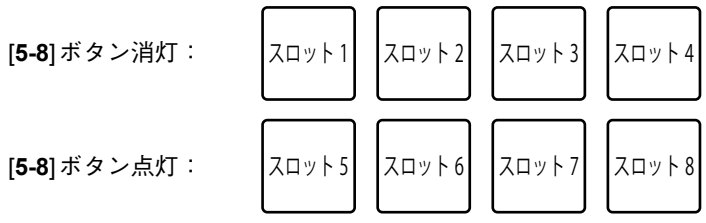
4つ（A、B、C、D）のバンクが切り替わります。

- それぞれのバンクには8つのスロットがあります。

4 ロードしたいスクラッチバンクが設定されているスロットのパフォーマンスPADを押す

スクラッチバンクの音声がロードされます。

- 各スロットは以下のようにパフォーマンスPADに割り当てられています。



- [**SHIFT**]ボタンを押しながらパフォーマンスPADを押すと、直前にロードされていた楽曲をロードします。

ROLLモード

パフォーマンスPADを押している間、割り当てられている拍数のループロール再生を行います。

1 [HOT CUE]ボタンを2回押す

ROLLモードに切り替わります。

2 [5-8]ボタンを押しながら、PAD 1またはPAD 2を押す

ボタンを押すごとに、パフォーマンスPADに割り当てる拍数が以下のように切り替わります。

- 1/32 から4 拍
- 1/16 から8 拍
- 1/8 から16 拍
- 1/4 から32 拍

例：1/8 から16拍を設定した場合、各パフォーマンスPADには以下のように拍数が割り当てられます。

[**5-8**]ボタン消灯：	1/8 拍	1/4 拍	1/2 拍	1 拍
[**5-8**]ボタン点灯：	2 拍	4 拍	8 拍	16 拍

Serato DJ Proの画面には、設定されている拍数が表示されます。



3 ループ再生したい拍数が設定されているパフォーマンスPADを押す

パフォーマンスPADを押している間、設定されている拍数でループロール再生を行います。

- ループロール再生中は、バックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。

- パフォーマンスPADを離すとループロール再生が解除され、解除するまでに経過した位置から通常の再生を開始します。

SAVED LOOPモード

Serato DJ ProのSAVED LOOPスロットにループを保存したり、保存したループを呼び出します。

1 [SAMPLER]ボタンを2回押す

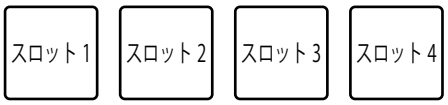
SAVED LOOPモードに切り替わります。

2 ループ再生中に、いずれかのパフォーマンスPADを押す

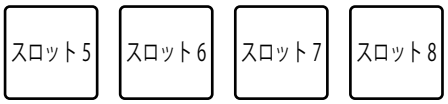
Serato DJ ProのSAVED LOOPスロットにループが割り当てられます。

- 各スロットは以下のようにパフォーマンスPADに割り当てられます。

[**5-8**]ボタン消灯：



[**5-8**]ボタン点灯：



3 [SHIFT]ボタンを押しながら、ループが設定されているいずれかのパフォーマンスPADを押す

ループの先頭から再生を開始します。

- ループ再生中に[**5-8**]ボタンを押しながらPAD 1またはPAD 2を押すと、再生中のループの長さを変更できます。呼び出したループの長さを変更した場合は、設定が上書き保存されます。
- ループ再生中に[**5-8**]ボタンを押しながらPAD 3またはPAD 4を押すと、ループの長さを変えずにループを移動できます。呼び出したループを移動した場合は、設定が上書き保存されます。

- もう一度同じパフォーマンスPADを押すと、ループ再生が解除されます。

ユーザーモード

Serato DJ ProのMIDIアサインを使って、本機のパフォーマンスPADにお好みのSerato DJ Proの機能をアサインできます。

- Serato DJ ProのMIDIアサインについては、Serato DJ Proのユーザーマニュアルを参照してください（6 ページ）。

1 [SHIFT]ボタンを押しながら[HOT CUE]または[SAMPLER]ボタンを2回押す

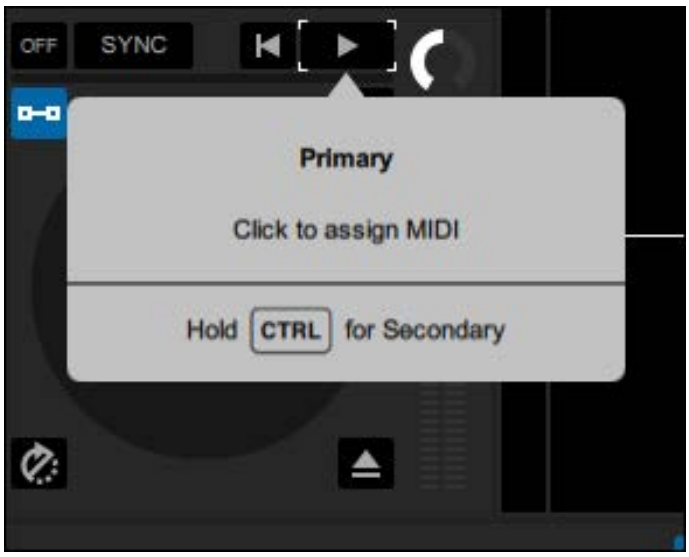
— [**HOT CUE**] ：ユーザーモード1に切り替わります。
— [**SAMPLER**] ：ユーザーモード2に切り替わります。

2 Serato DJ Pro画面で、[MIDI]をクリックする

Serato DJ ProがMIDIアサインに切り替わります。

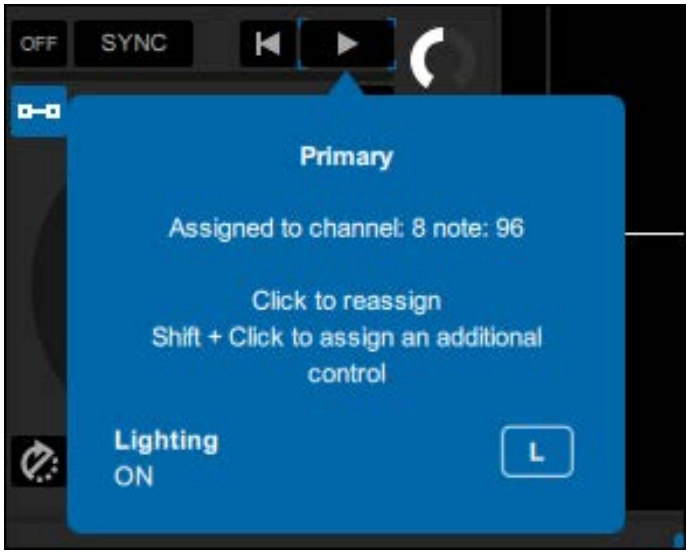
3 本機のパフォーマンスPADにアサインする機能をクリックする

例 ：[▶] (PLAY/PAUSE) をアサインするとき



4 選択した機能をアサインするパフォーマンスPADを押す

アサインに成功すると、アサイン完了メッセージが表示されます。



5 Serato DJ Pro画面で、[MIDI]をクリックする

MIDIアサインを終了します。

- 設定完了後、ユーザーモードではパフォーマンスPADにアサインされたSerato DJ Proの機能を使用できます。

rekordbox

HOT CUEモード

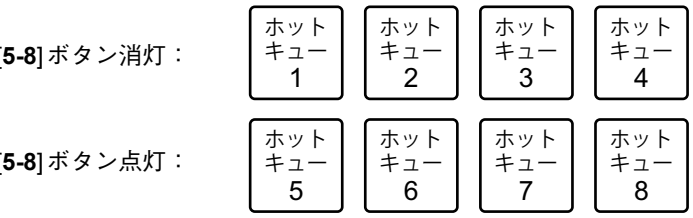
パフォーマンスPADを押すと、ホットキューポイントを瞬時に呼び出し、再生を開始します。
- ホットキューのほかに、ループを瞬時に呼び出すこともできます。
- 設定できるホットキューは1トラックにつき16個までですが、本機から呼び出し、設定できるのは8か所までです。

1 [HOT CUE]ボタンを押す

HOT CUEモードに切り替わります。

2 再生中または一時停止中に、ホットキューポイントを設定したい位置でいずれかのパフォーマンスPADを押す

ホットキューポイントが設定されます。
- ホットキューは、以下のようにパフォーマンスPADに割り当てられます。



3 ホットキューポイントが設定されているいずれかのパフォーマンスPADを押す

ホットキューポイントから再生を開始します。

- [**SHIFT**]ボタンを押しながらパフォーマンスPADを押すと、設定されているホットキューポイントを削除します。
- [**5-8**]ボタンを押しながらPAD 1またはPAD 2を押すと、メモリーCUEを呼び出します。

SAMPLERモード

パフォーマンスPADを使って、サンプラーのサンプラースロットにロードされたトラックの再生を開始します。

1 [SAMPLER]ボタンを押す

SAMPLERモードに切り替わります。

2 [5-8]ボタンを押しながらPAD 1またはPAD 2を押して、サンプラーのバンクを切り替える

4つ（A、B、C、D）のバンクが切り替わります。

- それぞれのバンクには16のスロットがあります。

3 rekordboxの画面で、トラックを[SAMPLER]パネルの各スロットにドラッグアンドドロップしてロードする

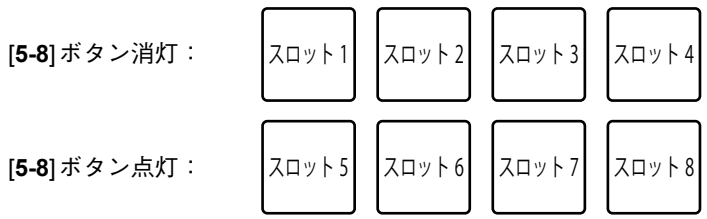
サンプラーの設定とロードしたトラックが保存されます。

- rekordbox for Mac/Windowsの環境設定によっては、すでにロード済みのサンプラースロットへ上書きでロードできない場合があります。

4 再生したいスロット（トラック）が設定されているパフォーマンスPADを押す

スロット音声の再生を開始します。

- 各スロットは以下のようにパフォーマンスPADに割り当てられています。



- 本機のデッキ番号が1または3のときは左側の8つのスロットを操作できます。デッキ番号が2または4のときは右側の8つのスロットを操作できます。

- サンプラー再生中にパフォーマンスPADを押すと先頭に戻って再生を続けます。

- [**SHIFT**]ボタンを押しながらパフォーマンスPADを押すと、スロット音声の再生を停止します。

TRACK SEPARATIONモード

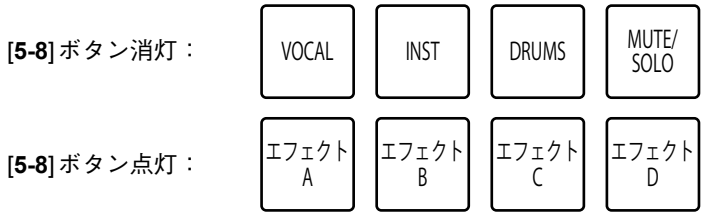
VOCAL、INST、DRUMSをパート別に操作できます。

1 [SHIFT]ボタンを押しながら[HOT CUE]ボタンを押す

TRACK SEPARATIONモードに切り替わります。

2 操作したい機能が設定されているパフォーマンスPADを押す

- 各機能は以下のようにパフォーマンスPADに割り当てられています。



— VOCAL：MUTE設定時はVOCALパートのミュートのオン/オフを切り替えます。SOLO設定時はVOCALパートのみを出力します。もう一度押すと全パート出力に戻ります。
— INST：MUTE設定時はINSTパートのミュートのオン/オフを切り替えます。SOLO設定時はINSTパートのみを出力します。もう一度押すと全パート出力に戻ります。
— DRUMS：MUTE設定時はDRUMSパートのミュートのオン/オフを切り替えます。SOLO設定時はDRUMSパートのみを出力します。もう一度押すと全パート出力に戻ります。
— MUTE/SOLO：MUTEとSOLOを切り替えます。SOLO設定時は白で暗点灯、MUTE設定時は消灯します。
— エフェクトA：PAD FXバンク2のエフェクトAを適用します。
— エフェクトB：PAD FXバンク2のエフェクトBを適用します。
— エフェクトC：PAD FXバンク2のエフェクトCを適用します。
— エフェクトD：PAD FXバンク2のエフェクトDを適用します。

SAMPLE SCRATCHモード

サンプラーの音声をデッキにロードして使用します。

1 [SHIFT]ボタンを押しながら、[SAMPLER]ボタンを押す

SAMPLE SCRATCHモードに切り替わります。

2 [5-8]ボタンを押しながらPAD 1またはPAD 2を押して、サンプラーのバンクを切り替える

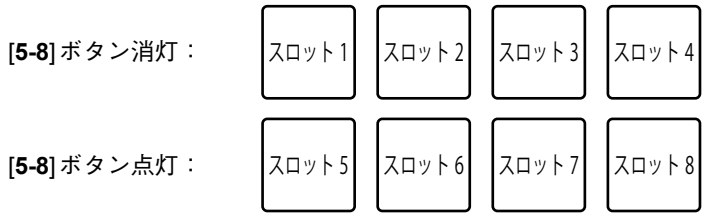
4つ（A、B、C、D）のバンクが切り替わります。

- それぞれのバンクには16のスロットがあります。

3 ロードしたいサンプルが設定されているスロットのパフォーマンスPADを押す

サンプラーの音声がロードされます。

- 各スロットは以下のようにパフォーマンスPADに割り当てられています。



- 本機のデッキ番号が1または3のときは左側の8つのスロットを操作できます。デッキ番号が2または4のときは右側の8つのスロットを操作できます。

- [**SHIFT**]ボタンを押しながらパフォーマンスPADを押すと、デッキにロードされている音声をアンロードします。

PAD FX モード

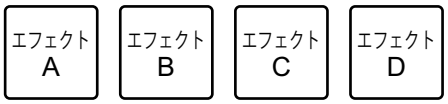
パフォーマンスPADの操作で、エフェクトを加えます。

1 [HOT CUE]ボタンを2回押す

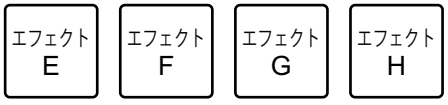
PAD FXモードに切り替わります。

- エフェクトは、以下のようにパフォーマンスPADに割り当てられます。

[**5-8**]ボタン消灯：



[**5-8**]ボタン点灯：



2 使用したいエフェクトが設定されているパフォーマンスPADを押す

PADを押している間、設定されているエフェクトと拍数でエフェクトがオンになります。

❖ PAD FXのRELEASE FXを使う

あらかじめリリースFXをパフォーマンスPADに割り当てます。

1 リリースFX以外のエフェクトが設定されているパフォーマンスPADを押し続ける

PADを押している間、設定されているエフェクトと拍数でエフェクトがオンになります。

2 リリースFXが設定されているパフォーマンスPADを押してから離す

それまでオンになっていたエフェクトがオフになり、リリースFXがオンになります。

BEAT JUMPモード

再生中のトラックのリズムを崩さずに、瞬時に再生位置を移動します。

1 [SAMPLER]ボタンを2回押す

BEAT JUMPモードに切り替わります。

2 [5-8]ボタンを押しながらPAD 1またはPAD 2を押す

PADを押すごとに、パフォーマンスPADに割り当てる拍数が以下のように切り替わります。

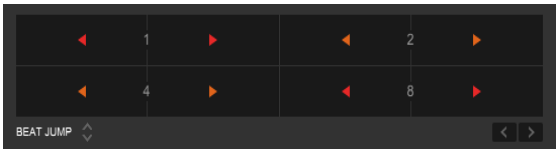
- FINEから1/2拍
- 1拍から8拍
- 16拍から128拍

例：1から8拍を設定した場合、各パフォーマンスPADには以下のように拍数が割り当てられます。

[**5-8**]ボタン消灯：	左方向 1拍	右方向 1拍	左方向 2拍	右方向 2拍
[**5-8**]ボタン点灯：	左方向 4拍	右方向 4拍	左方向 8拍	右方向 8拍

- [**5-8**]ボタンを押しながらPAD 3またはPAD 4を押すと、パフォーマンスPADに割り当てる拍数をより細かく切り替えます。

rekordboxの画面には、設定されている拍数が表示されます。



3 ジャンプしたい拍数と方向が設定されているパフォーマンスPADを押す

再生位置が、押したPADに設定されている拍数と方向で移動します。

ユーザーモード

rekordboxのMIDI LEARN機能を使って、本機のパフォーマンスPADにお好みのrekordboxの機能をアサインできます。

- rekordboxのMIDI LEARN機能については、rekordbox MIDI LEARN 機能操作ガイドを参照してください（6 ページ）。

1 [SHIFT]ボタンを押しながら[HOT CUE]または[SAMPLER]ボタンを2回押す

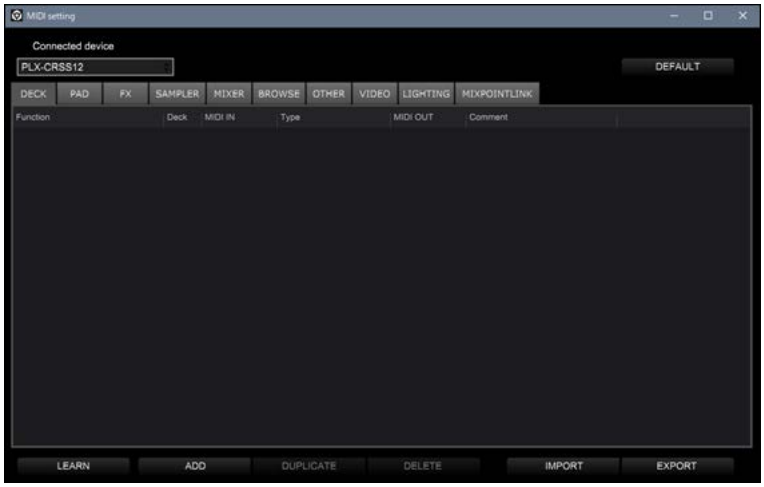
— **[HOT CUE]**：ユーザーモード1に切り替わります。
— **[SAMPLER]**：ユーザーモード2に切り替わります。

2 rekoredbox画面で、[MIDI]をクリックする

rekordboxにMIDI設定画面が表示されます。

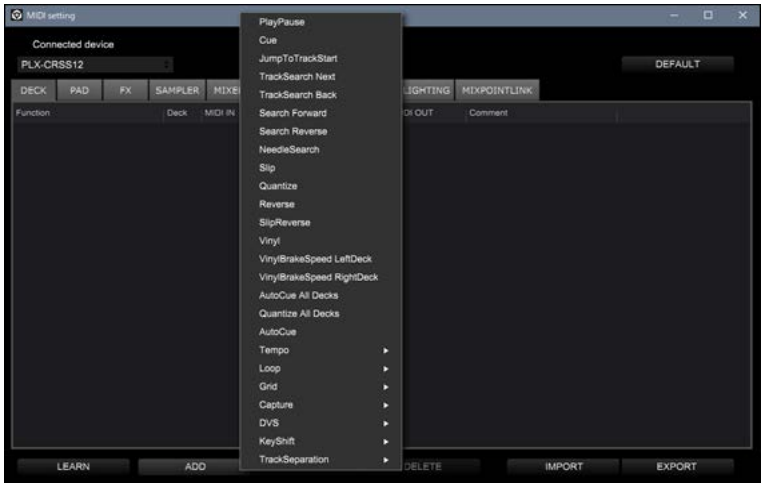
3 接続機器のリストで、PLX-CRSS12を選択する

MIDI設定項目一覧に選択機器のMIDI設定状態が表示されます（未設定の場合はブランク表示になります）。



4 [ADD]ボタンをクリックして、割り当てる機能を追加する

MIDI設定項目一覧の最下行に選択した機能が追加されます。



5 割り当てる機能をクリックして、[LEARN]ボタンをクリックする

[**LEARN**]ボタンが点灯し、オンになります。
例 ：[▶] (PlayPause) をアサインするとき



6 機能を割り当てるパフォーマンスPADを押す

本機からMIDIコードを受信すると[**MIDI IN**]にMIDIコードが表示されます。



7 rekoredbox画面で、[MIDI]をクリックする

MIDI設定を終了します。

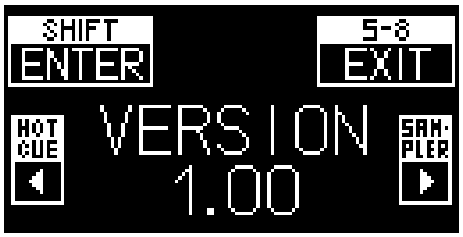
- 設定完了後、ユーザーモードではパフォーマンスPADにアサインされたrekordboxの機能を使用できます。

設定

設定を変更する

1 [DECK/UTILITY]ボタンを長押しする

画面表示部にUTILITY画面が表示されます。



2 [HOT CUE]または[SAMPLER]ボタンを押して、設定項目を選択する

3 [SHIFT]ボタンを押して、設定項目を決定する

設定画面が表示されます。

4 [HOT CUE]または[SAMPLER]ボタンを押して、設定値を選択する

5 [SHIFT]ボタンを押す

設定値が決定され、上位階層が表示されます。

6 [5-8]または[DECK/UTILITY]ボタンを押す

UTILITY画面が閉じます。

- 設定変更中に[**5-8**]または[**DECK/UTILITY**]ボタンを押すと、設定の変更はキャンセルされ、設定画面を閉じます。

UTILITY 設定項目

*：お買い上げ時の設定

設定項目	説明
VERSION	ファームウェアのバージョンを表示します。
TORQUE ADJUST	ターンテーブルのトルクを設定します。 • 設定値：**LOW**、**MID***、**HIGH**
LED BRIGHTNESS	ボタンや表示画面の輝度を調整します。 • 設定値：**1***、**2**、**3**
POWER MANAGEMENT	パワーマネジメント機能を設定します（58 ページ）。 • 設定値：**OFF**、**ON***
FACTORY RESET	**RESET** を実行すると、初期設定に戻ります。 • 設定値：**RESET**、**CANCEL***

パワーマネジメント機能

[**POWER MANAGEMENT**] を [**ON**] に設定しているときに、本機を操作せずに 20 分経過すると、自動的にオフモードになります。
[**MOTOR OFF**] ボタンを押すと、オフモードが解除されます。

- 本機は、パワーマネジメント機能を [**ON**] に設定して出荷しています。
- パワーマネジメント機能を使用しないときは [**OFF**] に設定してください。
- パワーマネジメント機能を [**OFF**] にしたときは、消費電力が増加することがあります。

DJソフトウェアを使う(MIDI)

MIDI対応のソフトウェアをインストールしたPC/MacをUSBケーブルを使って接続すると、本機からSerato DJ ProやrekordboxDJ以外のDJソフトウェアを操作できます。

- 本機のMIDIメッセージについては、下記のサイトを参照してください。

  pioneerdj.com/support/
- お使いのPC/Macに、あらかじめDJソフトウェアをインストールし、オーディオおよびMIDIの設定を行ってください。
- ボタンによっては、DJソフトウェアの操作に使用できないことがあります。

スペック

仕様

一般

電源 ..... AC 100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力 ..... 8 W
消費電力（OFF時） ..... 0.3 W
本体質量 ..... 12.2 kg
最大外形寸法 ..... (W x D x H) 453 × 353 × 159 mm
許容動作温度 ..... +5 ℃～+35 ℃
許容動作湿度 ..... 5 %～85 %（結露のないこと）

ターンテーブル部

駆動方式 ..... サーボ式ダイレクトドライブ
モーター 3相ブラシレスDCモーター
ブレーキシステム ..... 電子ブレーキ
回転数 ..... 33 1/3 rpm、45 rpm
回転数調整範囲 ..... ± 8 %、± 16 %、± 50 %
ワウ・フラッター ..... 0.15 %以下WRMS (JIS WTD)
S/N比 ..... 65 dB (DIN-B)
ターンテーブル ..... アルミダイカスト 直径：332 mm
起動トルク
　High ..... 0.45 N・m (4.5 kgf・cm) 以上
　Mid ..... 0.32 N・m (3.2 kgf・cm)
　Low ..... 0.2 N・m (2.0 kgf・cm)
起動時間 ..... 0.3 秒 (33 1/3 rpm 時)
ブレーキ時間
　Max ..... 3.5 秒
　Mid ..... 1.0 秒
　Min ..... 0.5 秒以下

トーンアーム部

アーム形式 ..... ユニバーサルタイプ S 字型トーンアーム、ジンバルサポート型軸受構造、スタティックバランス型
有効長 ..... 230 mm
オーバーハング ..... 15 mm

トラッキングエラー.....3°以内
アーム高さ調整範囲.....6 mm
針圧可変範囲 .....0 g から4.0 g (1目盛0.1 g)
適正カートリッジ質量 .....2.5 g から12 g
*取付用のねじ、ナットを含むカートリッジ質量
シェルウェイト使用時 .....2.5 g から5.5 g
バランスウェイトのみ使用時 .....5 g から9 g
サブウェイト使用時.....8.5 g から12 g

入力/出力端子

PHONO 出力端子
RCA ピンジャック.....1 系統
USB 端子
Type-C.....1 系統

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

その他

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、下記の項目および、Pioneer DJ サポートページから [**PLX-CRSS12**] の [**よくある質問 (FAQ)**] を確認してください。

pioneerdj.com/support/

- 本機と接続している機器も確認してください。
- 電源を入れなおすと正常に動作することがあります。

それでも正常に動作しないときは、「使用上のご注意」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。

電源

❖ 本機の電源が入らない

- 電源コードが正しく接続されているか確認してください。
- 本体リア部の⏻ボタンを押して、電源をオンにしてください。

音声出力

❖ 音が出ない、音が小さい

- 音声ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- 端子やプラグの汚れを確認し、汚れを拭き取ってから接続してください。
- ヘッドシェルが正しく接続されているか確認してください。

❖ 音が小さい、音が大きい。

- カートリッジの種類（出力）に適したアンプの接続切り替えになっているか確認してください。接続ケーブルを正しく接続してください。

❖ 左右の音が逆になる

- 各機器の接続が左右逆になっていないか確認してください。
- 音声ケーブルや、ヘッドシェル部のリード線を正しく接続してください。

❖ 再生中にブーンという低い音（ハム音、バズ音）がする

- 接続コードの近くに蛍光灯やほかの機器の電源コードがある場合は、できるだけ離してしてください。
- 本製品のアース線が正しく接続されているか確認してください。

アナログレコード再生

❖ 針先がレコード盤に下りない

- 針圧を正しく設定してください。バランスウェイトを、お使いのカートリッジの適正針圧値に合わせてください。
- トーンアームが水平の状態になるまでバランスウェイトを回して調整してください。

❖ 針とびを起こす

- 針圧を正しく設定してください。バランスウェイトを、お使いのカートリッジの適正針圧値に合わせてください。
- レコード盤がそったり、傷がついていないか確認してください。
- 針先が汚れている場合は、カートリッジ付シェルを取り外し、柔らかい穂先のはけか毛筆で針先のホコリやゴミを取り除いてください。
- アンチスケーティングを正しく調整してください。
- トーンアームの高さを正しく調整してください。

❖ アームが途中で止まって進まない

- レコード盤がそったり、傷がついていないか確認してください。
- アームの周辺に障害物などがある場合は取り除いてください。

トーンアームを使用せずにDVSを使用する

❖ 正しく再生できない

- [**NEEDLE MODE**]ボタンを押して、DIGITAL VINYLモードに設定してください。
- MAGVEL CLAMPが正しく取り付けられているか確認してください。
- ターンテーブルとMAGVEL CLAMPの間に厚みのあるラバーマットなどを取り付けている場合は取り外してください。
- MAGVEL CLAMP裏面や裏面中央部の穴に金属物などのごみが付着している場合は取り除いてください。

❖ MAGVEL CLAMP を取り付けた状態のとき、回転が軽くならない

- MAGVEL CLAMP を正しく取り付けてください（11 ページ）。
- ダイヤルが [**HEAVY**] 側に設定されている場合は、[**LIGHT**] 側に回してください。

❖ MAGVEL CLAMP を取り付けた状態のとき、回転が重くならない

- MAGVEL CLAMP を正しく取り付けてください（11 ページ）。
- ダイヤルが [**LIGHT**] 側になっている場合は、[**HEAVY**] 側に回してください。

使用上のご注意

遠くへ運搬するとき

購入時の包装材を使って包装してください。
購入時の包装材がない場合、必ず以下を行ってください。

- プラッターを取り外してから（ネジ6本を外す）、包装してください。
- ヘッドシェルやバランスウェイトは、アームから取り外してから、包装してください。
- トーンアームをアームクランパーで固定し、テープで結んで動かないようにしてください。
- 本体は、毛布や柔らかい紙などで、傷がつかないように包装してください。

各部のお手入れ

- ヘッドシェルを着脱する前に、アンプの電源を切ってください。スピーカーを破損することがあります。
- カートリッジ付ヘッドシェルを取り外し、柔らかい穂先のはけか毛筆で針先のホコリやゴミを取り除いてください。
- レコード盤はレコードクリーナーで拭いてください。
- 柔らかい布などでヘッドシェル端子を拭いて、トーンアームに取り付けてください。

ダストカバーなどのお手入れ

- ダストカバーとキャビネットは、柔らかい布で拭いてください。
- 通常は、柔らかい布でから拭きしてください。
- 汚れがひどいときは、水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったあと、汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがあるため、注意してください。
- ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めるので避けてください。
- 化学ぞうきんなどを使用する場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
- 再生中は、ダストカバーを拭かないでください。静電気が発生し、トーンアームがダストカバーに引き寄せられることがあります。

MAGVEL CLAMPのお手入れ

- MAGVEL CLAMPの裏面は粘着シートが貼り付いています。粘着力が落ちた場合は水洗いしてください。その際、MAGVEL CLAMP内部に水分が混入しないように注意してください。
- MAGVEL CLAMP裏面に金属物などが付着していないか確認してください。付着している場合は取り除いてください。

商標および登録商標について

- Pioneer DJ は、パイオニア株式会社の商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- rekordbox™ は、AlphaTheta 株式会社の商標または登録商標です。
- Mac は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Serato DJ Pro は Serato Limited 社の登録商標です。

その他記載されている商品名、技術名および会社名などは、各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアのライセンス

Apache

Copyright (c)2006-2022 NXP Semiconductors. All rights reserved.

MCUXpresso SDK: Apache-2.0

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the License); you may not use this file except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at

www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an AS IS BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.
See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

FreeRTOS Kernel V10.3.0

Copyright (C) 2020 Amazon.com, Inc. or its affiliates. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN

CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

http://www.FreeRTOS.org
http://aws.amazon.com/freertos

著作権

rekordboxでは、著作権保護の対象となる音楽コンテンツの再生や複製が制限されています。

- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれているときは、プログラムが正しく動作できないことがあります。
- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれていることを検知したときは、再生や読み込みなどの処理を中止することがあります。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- CDなどから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用するうえでのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用するうえでのすべての責任を負います。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

© 2023 AlphaTheta株式会社　禁無断転載
<DRJ1094-B>